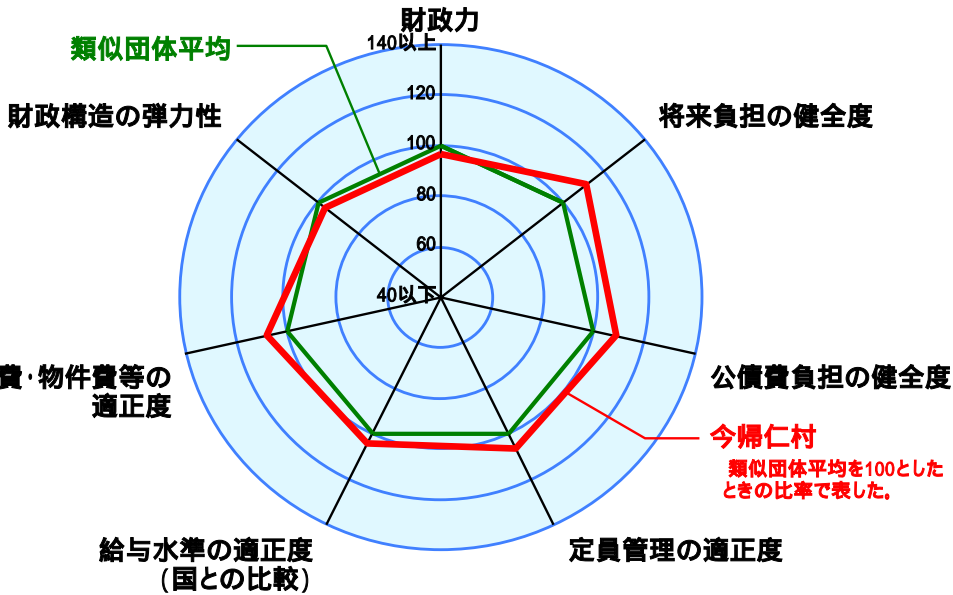
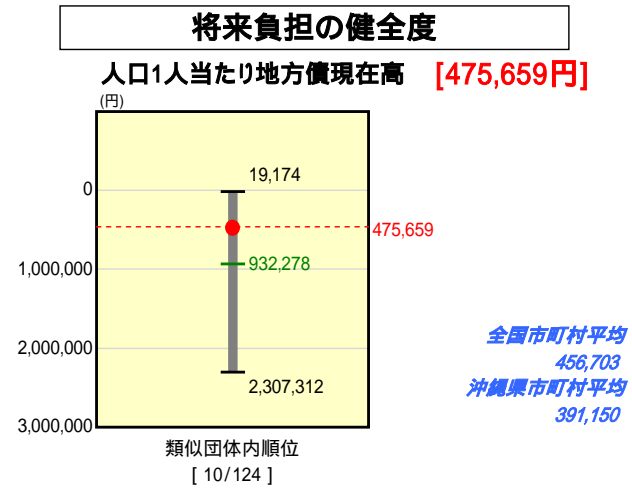
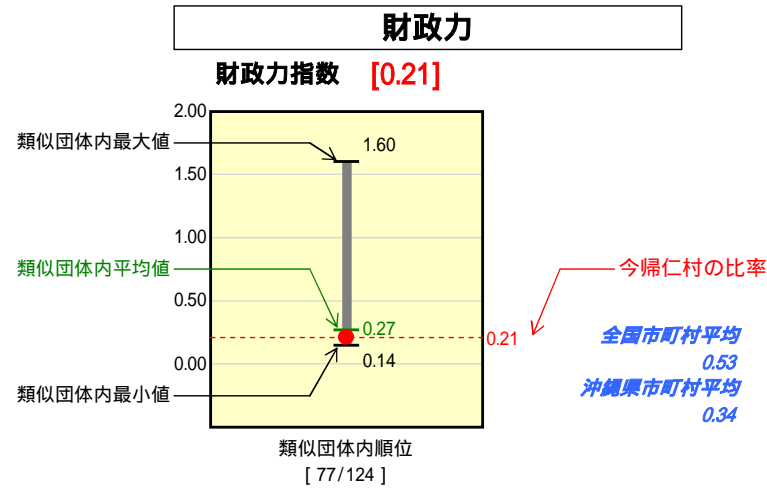


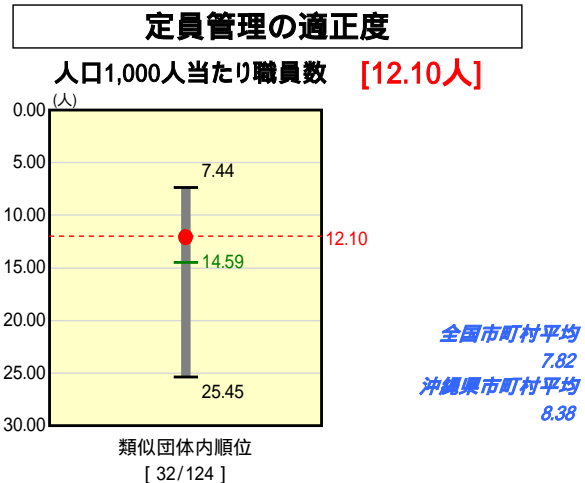
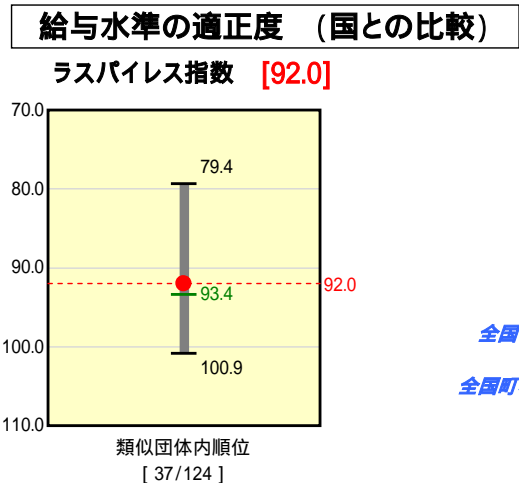
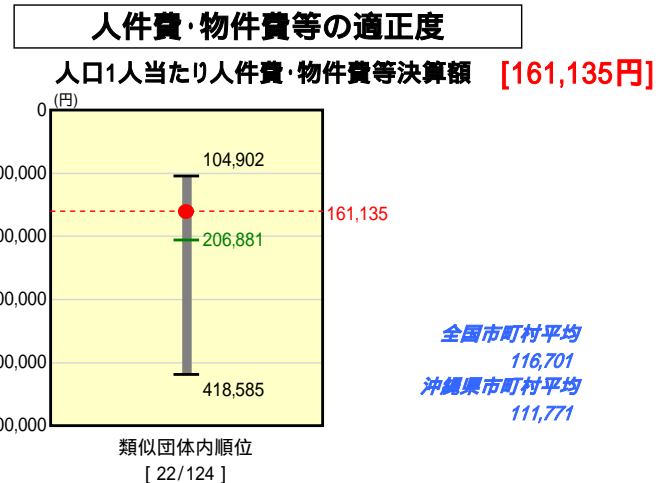
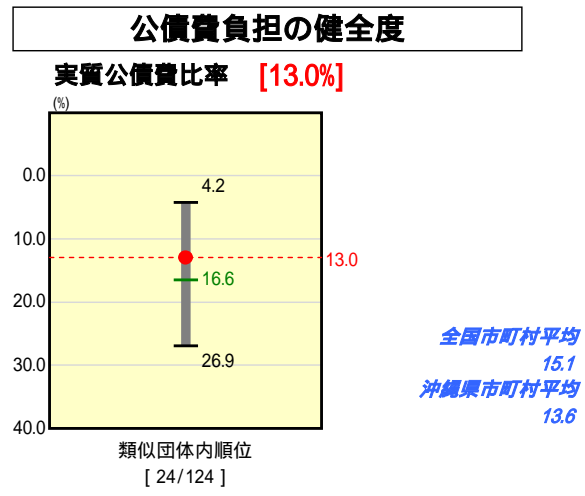
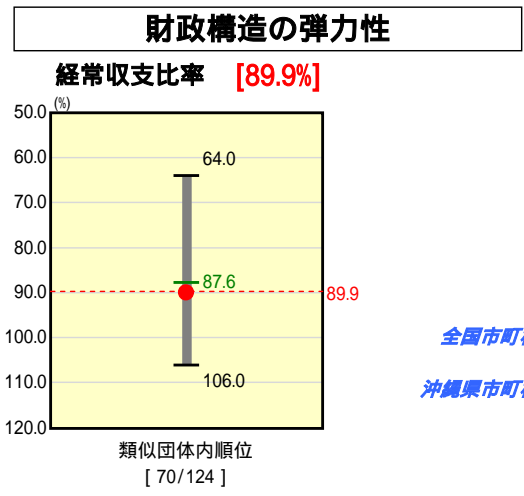
市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

沖縄県 今帰仁村

人口	9,505人	(H19.3.31現在)
面積	39.89	km ²
歳入総額	5,050,900	千円
歳出総額	4,896,827	千円
実質収支	134,818	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 純農村である本村においては、基幹である税収が少なく財政基盤が弱い事から、全国平均、県平均、類似団体平均を下回っている。これからの徴収率等を強化し、全国類似団体平均の0.25を当面の課題として取り組んでいく。

経常収支比率: 「行財政集中改革プラン」に基き、経常経費の削減に努めているが、89.9%と類似団体平均(87.6%)を上回っている。当面の目標を85.0%を下回ることとし、より一層の経常経費の削減を図る。

ラスパイレス指数: いわゆる「わたり」の見直し等を図り、全国町村平均、類似団体平均を3ポイント近く下回っている。今後も適正な給与水準、各種手当の点検を図る。

実質公債費比率: 本村においては、実質公債費比率は13.0%となっており、全国市町村平均、県市町村平均、類似団体平均をいずれも下回っている。今後も地方債発行の適正化を検討し、財政の健全化を図る。

人口1人当たり地方債現在高: 本村の一人当たり地方債現在高は475,659円で昨年の現在高より2万円ほど下がり、類似団体平均を大きく下回っている。今後も地方債発行の適正化を図り、財政の健全化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 退職者不補充を継続実施している現在、昨年の12.80人を下回り、12.10人となり類似団体平均を下回っている。さらに今後も職員数の適正化を図る。

人口1人当たり人件費・物件費決算額: 昨今の行財政改革により、人件費及び物件費は極力抑制しているため、類似団体平均は下回っているが、県市町村平均を上回り、当面、県市町村平均を上回り、当面、県市町村平均の111,771円/1人を目標に取り組んでいく。